

救急の新雑誌 **BeyondER** ビヨonder [2022年11月末] いよいよ創刊!

病院の**中**の視点＋病院の**外**からの視点

目前のことに没頭すれば自然、空から自身を眺める余裕はなくなります
救急現場を支える若手医師、医療従事者も例外ではありません

少子高齢化や貧困、心理社会的問題や虐待、さらにはパンデミック、災害…
平時も非常時も、社会の抱える課題を最もよく知る医療者たちは、
目の前の対応に追われがちです

医療の最前線を守る確かな臨床力とともに、
社会を俯瞰でとらえ未来の医療を読む力を届けたい

BeyondERでは、“ER”の中と外の両方の視点から、
救急医療にアプローチします

今を問い、先を見据えて選択する

知識の多寡よりも、情報の認知、咀嚼、運用力がいっそう試される時代となりました。今、見ているものは本当に正しいのか、私たちの未来にとって適切なあり方なのか。救急医療の多面性をふまえて、読者とともに考え続けていきたい。BeyondERは近未来の提示、将来の医師像をふまえた選択肢の提示に挑みます。

LiSA... INTENSIVIST... Hospitalist... 脈々と受け継がれてきたチャレンジスピリッツ

これまで小社では、麻酔誌LiSA、集中治療誌INTENSIVIST、総合診療誌Hospitalistと、他社とは一線を画する雑誌を送り出してきました。常に挑戦者たるべく私たちがこだわってきたのは、臨床情報の正確性、信頼性。手間も時間もかかり、編集委員らも時に前のめりに倒れそうですが、BeyondERでも等しくあきらめません。

こんな方に
オススメ

救急担当医

救急外来にかかわる
各科専攻医、指導医
初期研修医

救急医

救急科専攻医

救急系
医療従事者

救急救命士
救急看護師

本誌を代表する2大特集

特集1 救急医療のリベラルアーツ

政治経済、社会や教育、ライフなど多方向から救急領域に迫り、来たるべき近未来を提示します。教科書的な一般論にとどまらず、一步踏み込んだ考察や、今までとは異なる視点からの解釈を提供し、読者に新たな視点を届けたい、ともに社会における救急医療のあり方を考えていきたい。読み物としての面白さを備えつつも、若手医師の知覚・認知力を養い、既存の考え方やシステムに対して問い続ける思考力、未来を動かす行動力の基盤となることを目指しています！

特集2 ERスタンダード

エビデンス＋経験知に基づき、救急外来・救命救急におけるスタンダードを提示します。質の高い情報や多少高レベルな臨床情報でも、読者がちょっと背伸びすれば理解できるわかりやすさ・読んでみようと思わせるとつつきやすさで提供し、救急現場に立つ読者の思考力・対応力の伸びしろを広げていきます。本特集を通じて、各専門科－救急科のクロストークを意識したうえでの実践力や、エビデンスのない領域に挑戦するリサーチマインドの養成も目指します！

そのほかのコンテンツ

巻頭対談

医学以外の業界で活躍するプロフェッショナルも含む、独自の視点をもつ識者を招き、彼らとの対話のなかから、医師が日常生活に生かせる知見を発信します。

連載

いつだってストラテジックにゆこう (渡瀬剛人)

裏庭でソロキャンプ (東 秀律)

毒物 事件簿 (千葉拓世)

編集委員 (五十音順)

小倉崇以 済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 / 栃木県救命救急センター

佐藤信宏 新潟市民病院 救急科

園生智弘 TXP Medical 株式会社 / 日立総合病院 救急集中治療科

船越 拓 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 救急外来部門

山内素直 友愛医療センター 救急科

山上 浩 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科

編集協力委員 (五十音順)

伊藤 香 帝京大学医学部附属病院 救命救急センター

千葉拓世 国際医療福祉大学医学部 救急医学講座

東 秀律 日本赤十字社 和歌山医療センター 救急科・集中治療部

渡瀬剛人 藤田医科大学病院 救急総合内科

編集顧問

志賀 隆 国際医療福祉大学医学部 救急医学講座